

キッズ・モニターアンケートの概要 「手話（しゅわ）について」

アンケートの実施結果は、以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

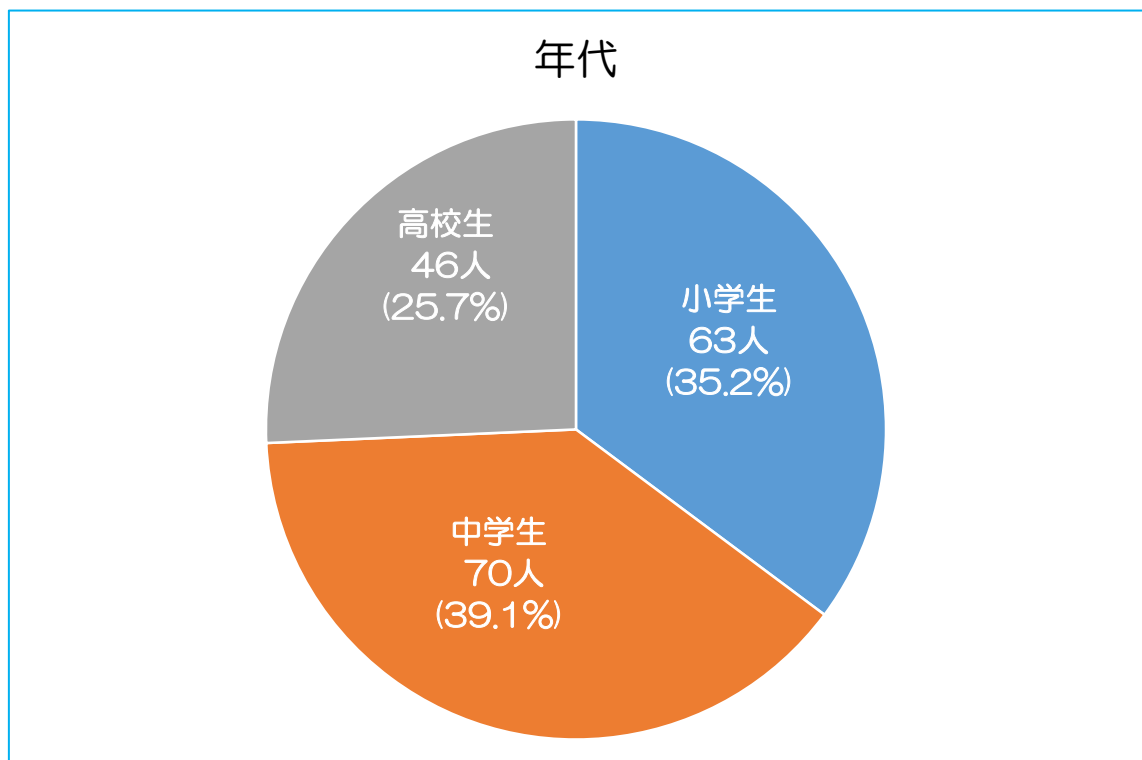
1. 実施期間 令和6年9月6日（金）～令和6年9月24日（火）
2. 回答者数 179人
3. 回答率 30.7%（179人／583人）
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 子ども・福祉部障がい福祉課

アンケート結果概要

Q1 あなたの年代はどれですか。

【単一回答】

今回答えていただいた方の年代は、下の表のようになりました。

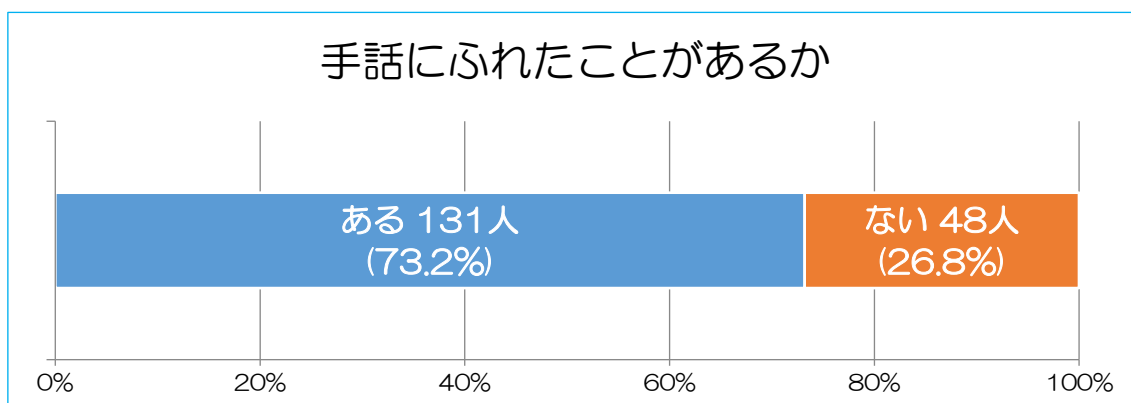


Q2 あなたは、これまでに、手話にふれたことがありますか？
 （手話にふれるとは、手話を使う人に会ったり、手話を見たり、体験したり、学んだりすることです。）

【単一回答】

手話にふれたことが「ある」人の割合は73.2%となり、おおよそ10人のうち7人が手話にふれたことがあることがわかりました。

また、手話にふれたことが「ある」人の割合は、小学生や高校生と比べて、中学生がやや高い結果になりました。



手話にふれたことがある人の割合（年代別）

	小学生	中学生	高校生
ある	73%	77%	67%
ない	27%	23%	33%

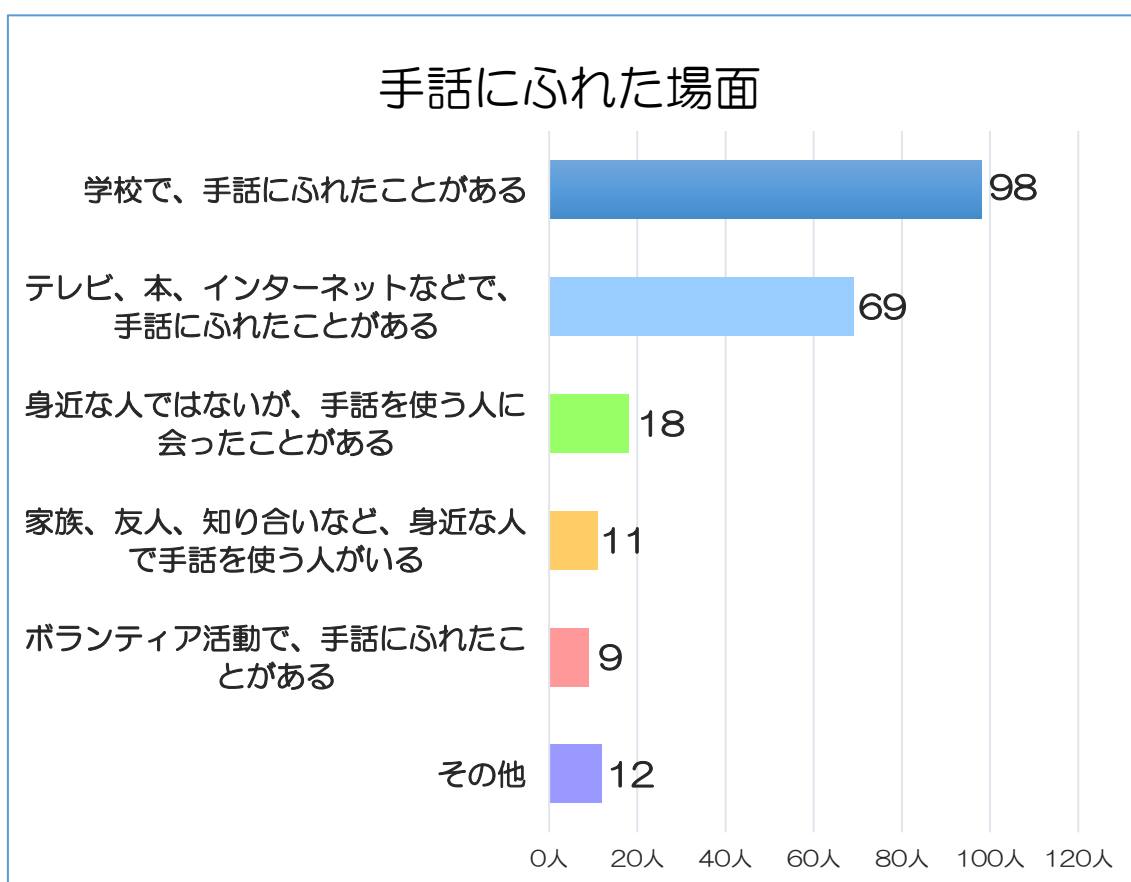
<手話にふれたことのある人の割合の推移（キッズ・モニターアンケート）>

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
72.9%	78.4%	77.8%	76.9%	73.2%

Q3 Q2で「①ある」と答えた人にお聞きします。
それはどのような場面でしたか？あてはまるものすべてをえらんでください。

【複数回答】

実際に手話に「ふれる」のは、「学校」(98人)が最も多く、次に「テレビ、本、インターネット」(69人)が多い結果となりました。

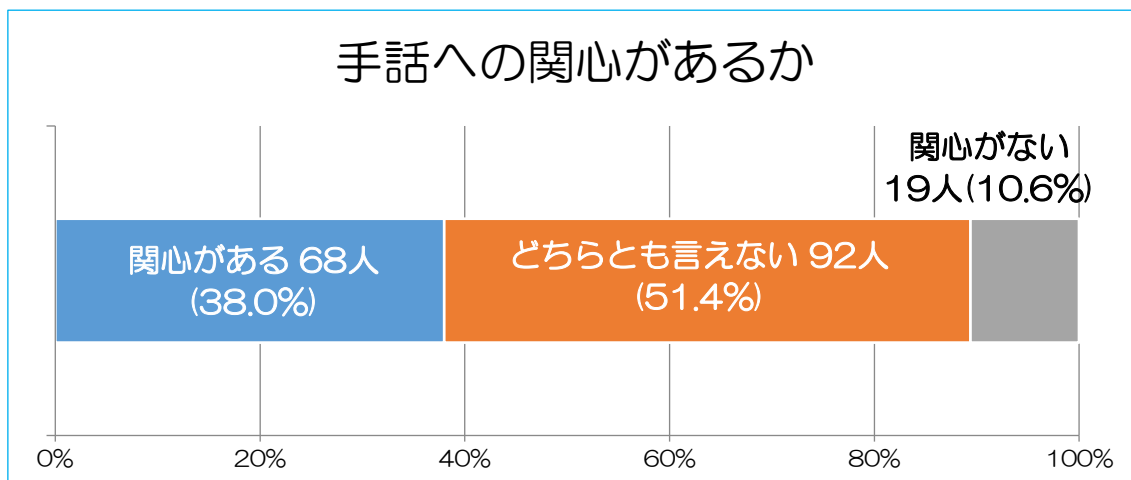


Q4 あなたは手話に関心がありますか？

【単一回答】

約4割の人が手話に関心があると回答しているものの、「どちらとも言えない」と回答した人が最も多い結果となりました。

また、年代別では、中学生が、小学生や高校生より関心が高いという結果になりました。



手話に関心がある人の割合（年代別）

	小学生	中学生	高校生
関心がある	33%	49%	28%
どちらとも言えない	57%	40%	61%
関心がない	10%	11%	11%

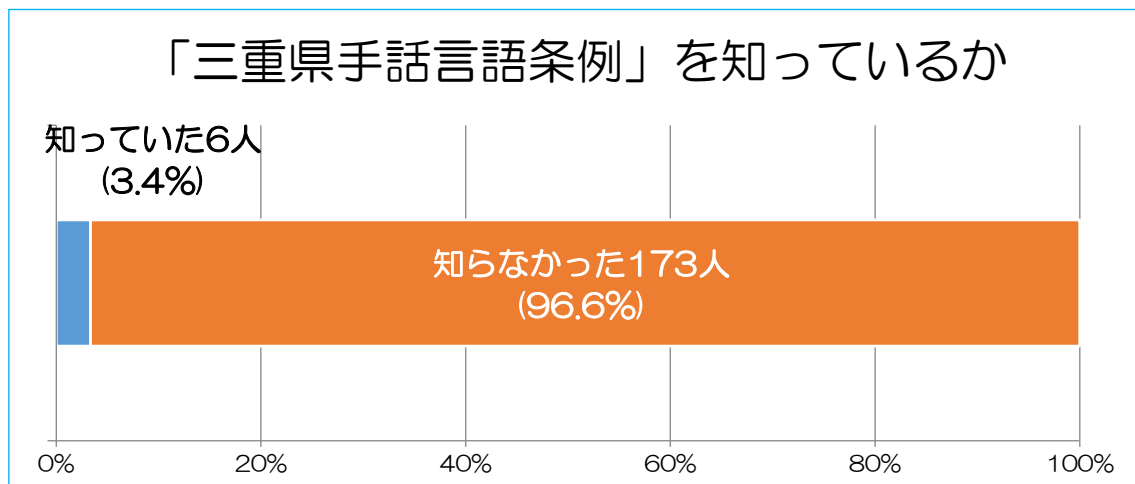
Q5 あなたは、平成29年4月1日に「三重県手話言語条例」ができたことを知っていましたか？

【単一回答】

三重県手話言語条例について、「知っていた」人の割合は3.4%と、依然として知らない人が多い状況です。

「三重県手話言語条例」では、手話は、ろう者（耳が聞こえず、手話を使っている人）がコミュニケーションをとるための大切な「言葉」であることや、県は、手話を使いやすい環境づくりを進めること、また、県民のみなさんの役割として、手話への理解を深めていただくこと、などを定めています。

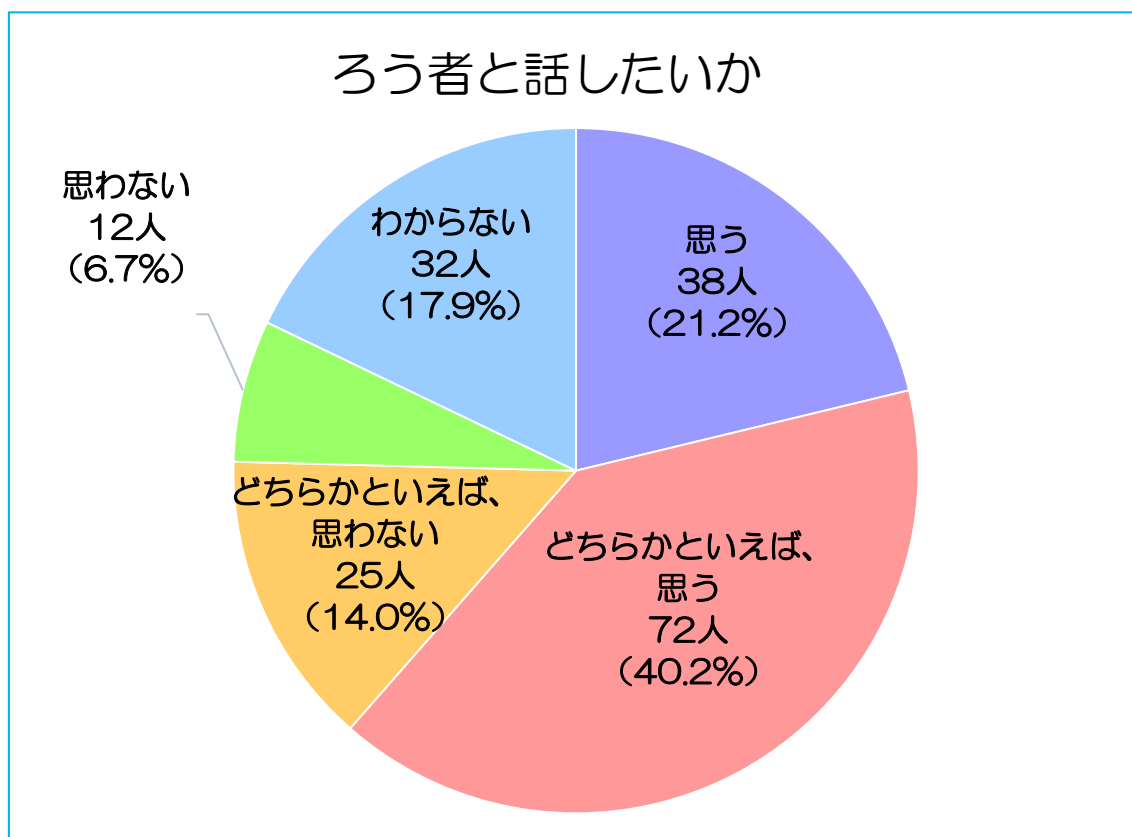
県では、条例に基づく取組を進めることにより、聞こえる人とろう者が、おたがいを尊重し、だれもが手話に親しみ、手話が広く利用される社会になることをめざしていきます。



Q6 あなたはろう者（耳が聞こえず、手話を使っている人）と話したい
と思いますか？

【単一回答】

「思う」、「どちらかといえば、思う」と回答した人が約6割近くとなっているものの、「わからない」と回答した人も多い結果となりました。

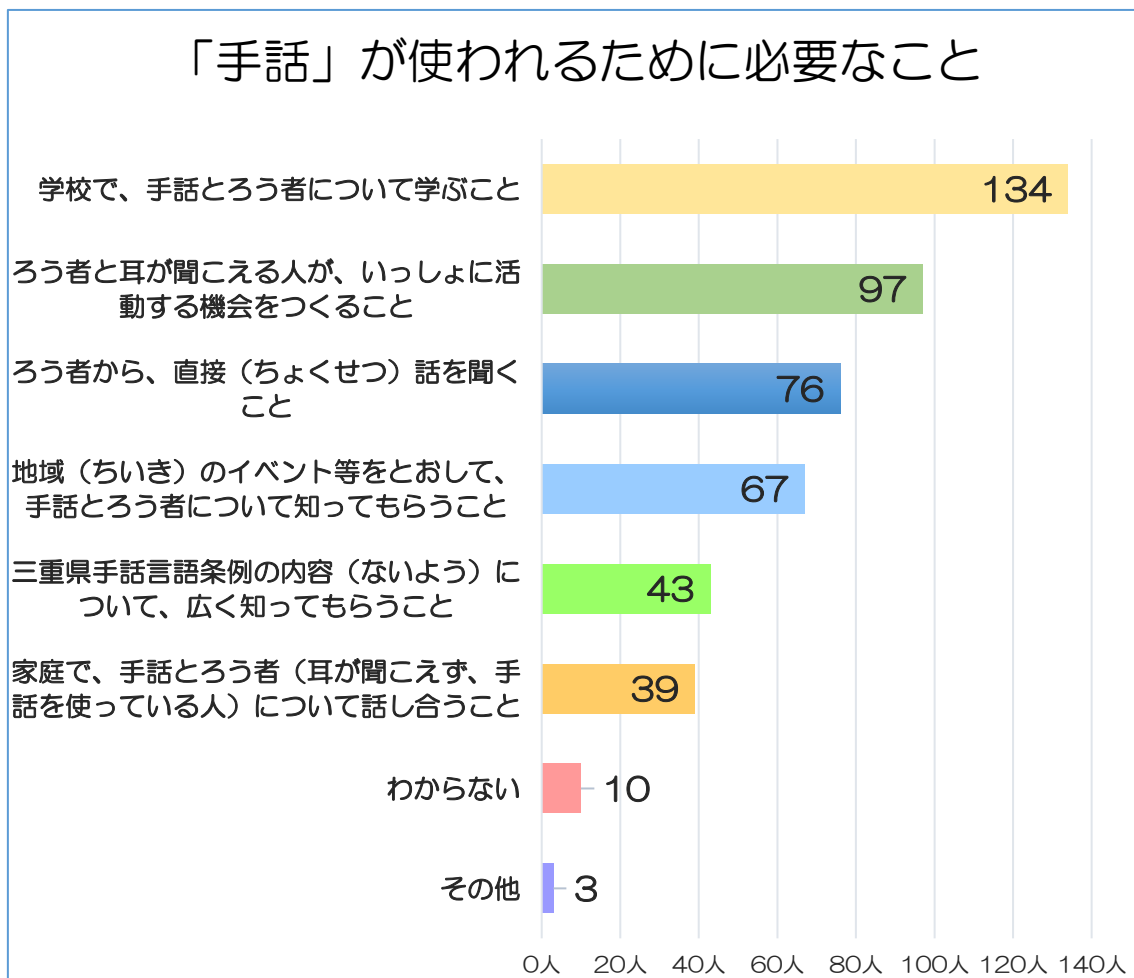


Q7 あなたは、「手話」がたくさんの人に使われる三重県になるためには、どのようなことが必要だと思いますか？あてはまるものすべてをえらんでください。

【複数回答】

「手話」がたくさんの人に使われる三重県になるためには、多くの方が「学校で、手話とろう者について学ぶこと」（134人）「ろう者と耳が聞こえる人が、いっしょに活動する機会をつくること」（97人）が必要と考えていることがわかりました。

また、「ろう者から、直接（ちよくせつ）話を聞くこと」（76人）や「地域（ちいき）のイベント等をとおして、手話とろう者について知ってもらうこと」（67人）といった回答も多く寄せられました。



Q8 あなたの持っている「手話」のイメージについて、教えてください。

(例 耳が聞こえない人のことばである。かっこいい。むずかしそう。など)

【自由回答】

「むずかしそう」「覚えるのがたいへんそう」などが多い一方で、「使う人はすごい」「かっこいい」なども目立ちました。

いくつかの意見を選びましたので、紹介します。

「手話」のイメージについて

- プリンなど、想像しやすい手話がある。
- 難しいけどできるとかっこいいと思う。
- 耳の聞こえない人と聞こえる人が繋がる事が出来る素敵な会話方法だと思います。
- 幼稚園のときに指文字をならいました。おもしろくて家でもみんなに教えたりしたけど、時間がたつと忘れてしまった。また教えてもらいたい。
- 好きなアーティストが手話を使って踊っていたのでかっこいいと思った。
- 歌で歌詞に合わせて手話をする振り付けがあったり、手話の関心を広めるためにインターネットで動画配信している人をよく見かけます。
- 保育園の時に手話の勉強会があったり、小学校には両耳が聞こえない子がいたので、手話は身近な存在に感じる。意外と親世代の方が手話を知らないと思います。
- 手だけで会話が出来てすごいなと言う感心と、いろいろな表し方があって難しそうというイメージがあります。
- ドラマで使われているが、難しそう。
- むずかしそう。手話が分からなかったら、筆談で伝えたい。
- 耳が聞こえない人の手段ではあるが、騒がしい所での手段でもあると思う。声が聞こえないくらい騒がしいや遠いところからのコミュニケーション手段としても手話は必要だと思う。